

きらめき

佐久市立平根小学校
令和4年10月14日(金)

No.23



子どもたちの思考



秋の気温となり、毎日寒いぐらいです。風邪気味の児童が多く見られます。睡眠をしっかりとして、よく食べ、元気に運動して体の免疫機能を高めてほしいと思います。

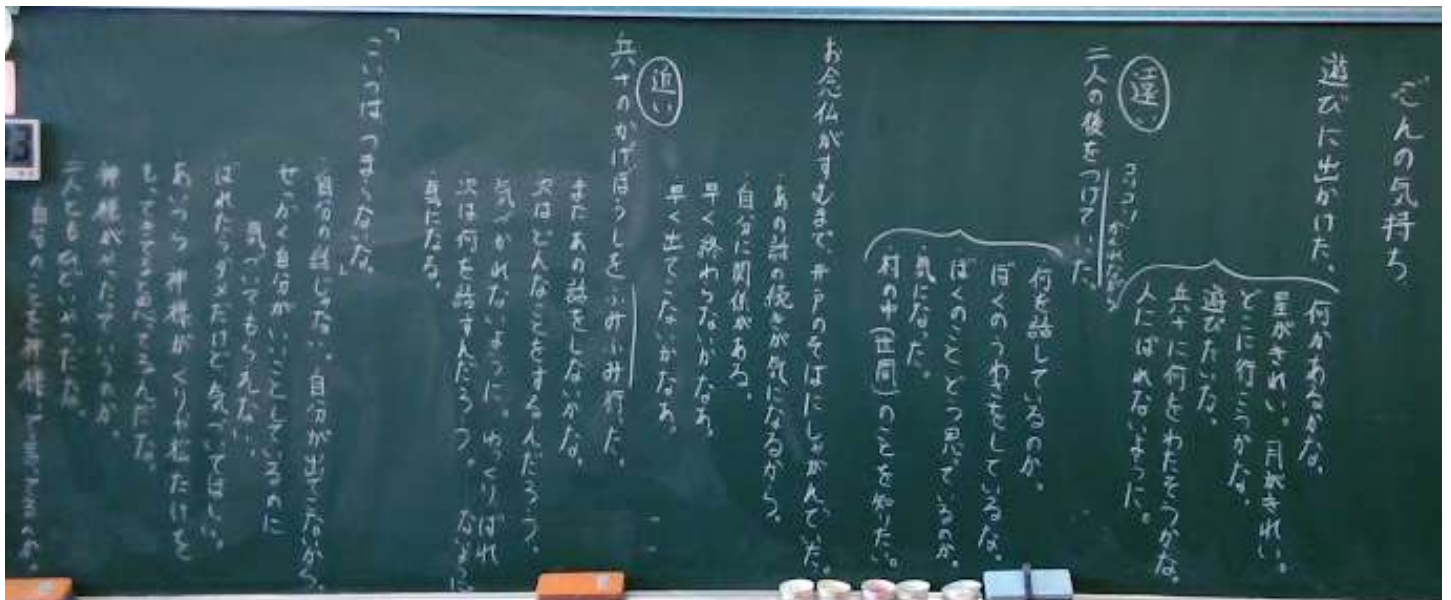
今週は、子どもたちの学習の様子をお伝えしたいと思います。国語では「ごんぎつね」、社会では「災害からくらしを守る」、算数では「式と計算の順序」、理科では「天気と気温」、などを学習しています。

国語の「ごんぎつね」では、「ごん」の行動や言動から気持ちがどのように変化していったのかを、文中の言葉をヒントに考えてきました。「軽い気持ちでいたずらしただけだったのに。」「うなぎを盗もうとしたわけではなかったのに。」「自分のせいで兵十のおっかあは死んだんだ。」「おれが栗や松茸を持って行っているのに、神様のせいにされちゃうの。」「見つかったらだめだけど、気づいてほしい。」など、たくさんの意見が子どもたちから上がりました。

社会では、「地震が起こると、わたしたちの生活はどのように変わるのか。」というめあてで学習を進めています。子どもたちはタブレットや教科書などを使って調べ、「水道やガス、電気が止まる。」「道路がぐちゃぐちゃになる。」「家やビルが壊れる。」「デマや泥棒などの人間関係のトラブルが起きる。」などの意見が出て、出た意見に対して自分の考えを付け足したり、もっと詳しく調べようとしたりする子もいて、意欲的に学習に取り組んでいました。

算数では、四則混合算でどこから計算したら良いかを「計算のきまり」を使って考えて計算したり、□を使った立式の仕方を考えたりしました。また、「なぜそうなるの?」という問いに対して、「だって～だからです。」や「ここが違うからで、正しい答えは〇〇です。」と、自分の言葉で少しずつ説明することができるようになってきました。

理科では、晴れや曇りの日の気温の違いを実際に調べ、百葉箱の「記録温度計」の2週間の温度変化のグラフから分かることを読み取ったりしました。「晴れの日にはグラフのなみなみ大きい。」「曇りの日はほとんど変化がない。」「晴れの日には、だいたい1～2時の気温が一番高い。」「9月と10月の気温は10～20℃付近で推移している。」など、全員が気付いたことや分かったことを発表していました。



今週の子どもたちの様子

